

## 第7回栃木県産業再生委員会地域金融再生部会議事録

日 時 平成19年2月2日(金) 13:30～15:45

場 所 ホテルニューイタヤ「桜の間」

出席者

< 委員 >

須賀部会長

宇野委員、小川委員、菊池委員、久保委員、佐藤委員、谷口委員、中川委員、  
中村委員、畑山委員、峰岸委員（欠席2名）

< 出席を求めた参考人 >

栃木県中小企業団体中央会菊池会長、（社）栃木県経済同友会新井副代表幹事、  
（社）栃木県商工会議所連合会板橋副会長、栃木県商工会連合会田中会長、  
（社）栃木県経営者協会青木会長

< 県 >

須藤副知事、麻生出納長、佐藤商工労働観光部長、土屋副出納長兼出納局長、  
野口商工労働観光部次長兼産業政策課長、床井商工労働観光部次長、  
中山出納局次長兼管理課長、大森経営支援課長、高野出納局会計課長

会議内容

1 開 会

2 副知事あいさつ

委員の皆様方、また本日お集まりをいただきました経済団体の皆様方には、足利銀行の受皿問題をはじめ、県政の推進につきまして日ごろから格別のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、昨年は皆様方からのご意見等も踏まえまして望ましい受皿のあり方について金融庁のワーキンググループ会議のヒアリングに臨むとともに、県議会や県緊急経済活性化県民会議と一致協力して、内閣総理大臣をはじめ関係閣僚に対する要望活動を行うなど、地元の意見を反映させるための一連の取り組みを行うことができました。

さて、ご案内のとおり、国におきましては、昨年11月2日に公表した公募要領により受皿に求める基本的な条件を提示した上で候補の募集を開始し、年末の12月15日に公募を締め切りました。残念ながら、どこが応募したかということについては秘密事項ということでオープンにされておりません。その後、1カ月半をかけて第1次審査を行い、現在、第1次審査を通過した受皿候補に対して事業計画書の提出を求めているところでございます。

一方、これと並行して再度、知事の意見を聴取するため来週2月8日に金融庁のワーキンググループの会合が開催されることになりました。

今後、事業計画書等によって受皿候補の絞り込みを行う第2段階の手続きを経て、足利

銀行の企業価値を適性に評価した上で譲り受け条件等をさらに提出させ、最終的に受皿を決定するという手順になると聞いておりますが、こうした流れの中で今回のヒアリングは極めて重要であると考えております。

本日はこの2月8日のヒアリングにおきまして前回県が要望いたしました16項目をベースに特に重点的に述べる事項等につきまして経済界の皆様との意見交換を踏まえて委員の皆様方の専門的な立場からの率直なご意見をお伺いしたいと考えております。

9月の段階では16項目について網羅的に要望しておりますので、新たな項目を追加することはないと考えております。従いまして本日は16項目の中で重点的に申し述べるべき項目についてのご意見をお伺いしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

県といたしましては、引き続き真に県民のためになる銀行の実現を目指し、県民一丸となってねばり強く取り組んでまいりたいと考えております。皆様方には引き続きお力添えを賜りますことをお願いを申し上げます、あいさつとさせていただきます。

### 3 須賀部会長あいさつ

皆様には大変お忙しい中、貴重なお時間を割いてお集まりいただきましてまことにありがとうございます。

部会委員の皆様におかれましては、足利銀行の望ましい受皿について2年前に報告書を取りまとめたいただきまして、それが県や県議会、県緊急経済活性化県民会議が行ってまいりました国への要望活動の基礎となりました。この取りまとめに当たり、多大なご尽力をいただきましたことに対しまして厚く御礼を申し上げます。

また、本日は経済団体の皆様にもお越しいただいておりますが、ちょうど2年前の雪の日にヒアリングをさせていただいたことを思い出しております。この時も大変ご尽力いただきました。また本日お越しいただきましたことに対しても改めて御礼を申し上げます。

ただいまの副知事のあいさつにもありましたとおり、来週、知事が国に対して再度意見を申し述べる機会が与えられたということでございます。このため、本委員会の藤本委員長から私に対しまして、「昨年、県が国に示した16項目の要望をもとに改めて国に申し述べる重点項目について、部会として経済界のご意見を踏まえて検討していただきたい。」との指示がありました。

このため、本日はまず経済団体の皆様との意見交換を行った後、部会での審議を行うこととしております。このため、委員の皆様からは専門的な立場から、また経済団体の皆様方からは本県経済の発展に資するための視点からそれぞれ率直なご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 4 出席者紹介

地域金融再生部会委員及び経済団体からの出席者を紹介

(これ以降の議事進行は須賀部会長が行う。)

【須賀部会長】

これからの進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、最初に、会議の公開、非公開についてお諮りしたいと思います。

以前、この部会が「足利銀行の望ましい受け皿のあり方」について審議した際、率直な意見交換を行いたいとの理由により非公開といたしました。本日の会議も慎重に取り扱うべき情報、意見が出される可能性がございますので、藤本委員長のご指示のもと、「非公開で行った方がよいのではないかと申し伝えられましたので、非公開としたいと思います。いかがでしょうか。

(各委員から異議なしの意見)

本日の会議は非公開となる。

-----  
会議内容の要旨は下記のとおり

5 議 題

(1) 「栃木県経済団体金融危機対策本部」を構成する経済団体との意見交換

- 栃木県中小企業団体中央会
- 社団法人栃木県経済同友会
- 社団法人栃木県商工会議所連合会
- 栃木県商工会連合会
- 社団法人栃木県経営者協会

(経済5団体からの意見)

【内 容】

- 1 独立・中立・安定的な経営を中長期にわたり確実に行うことが必要であり、そのための主たる資本は、株主利益第一となる外資などではなく、国内安定資本が望ましい。
- 2 受皿銀行への移行時はもとより将来的にも、足利銀行の現在の有り様をできるだけ引き継ぐことが重要である。また、企業との取引、行員、人材、本店、さらには行名等の継承の仕方も重要である。
- 3 円滑な地域金融の確保のためには、中小企業の育成と地域経済の安定や活性化に資する、地域密着型金融の遂行が必要であるとともに、他の地域金融機関との役割分担・連携も大切である。
- 4 資本の安定化や地域の信頼確保のためには、地域の資本参加が必要なこと、公平公正な経営監視体制を構築することなどが必要である。

( 2 ) 国に対する要望について

( 県産業再生委員会地域金融再生部会が検討した重点要望項目 )

【内 容】

- 1 一時国有化以降、足利銀行がここまで再生したことは、同行の役職員と県民・経済界の努力によることを国は評価し、県民が望ましいと考える受皿に承継されるよう要望すべきである。
- 2 地域の中核的金融機関としてのビジネスモデルを中長期的に担保するために、受皿銀行移行時や将来の資本構成、経営陣がどうなるかが最も重要であり、地域の資本が参画する必然性があり、その用意があること。  
株主利益第一となる外資系などが主体となることは好ましくなく、独立的、安定的な幅広い国内資本や地域資本を中核とした中立的な株主構成が望ましい。  
また、選定の第三段階においても、企業価値評価金額の多寡のみならず、足利銀行が本県にふさわしい受皿銀行へ移行することによってもたらされる中長期的な経済社会効果を重視して選定するよう要望すべきである。
- 3 地域の社会経済の安定や活性化に資する、県民から信頼ある銀行であることが重要であり、このため、今後も国に対しては、選定過程において県の意向を積極的に聞くべきであるということ県民としては一丸となって要望していくべきである。

